

エリック・ビアンヴニュ氏がカナダビーフ次期プレジデントに就任

2023年9月19日

(アルバータ州カルガリー発) カナダビーフ国際機構とカナダビーフ・チェックオフエージェンシーは、エリック・ビアンヴニュ氏が2023年10月3日(火)付で次期プレジデントに就任することを発表します。ビアンヴニュ氏はカナダの豚肉・鶏肉産業で幹部として30年近く経験を積んだ戦略的リーダーとして、その豊富な知識とノウハウをカナダビーフ国際機構で活かしていきます。

カナダビーフ国際機構プレジデントのマイケル・ヤングは、ビアンヴニュ氏の動物性たんぱく質産業における豊富な経験は、氏の新たな任務に大いに役立つだろうと述べました。ヤングは「彼は確かなビジネスセンス、協調型のリーダーシップ・スキル、そしてカナダの畜牛・牛肉セクターの継続的な成功と繁栄をサポートするために必要な推進力を組織にもたらしめます」と語りました。

ヤングのリーダーシップの下、カナダ牛肉業界は過去数十年で最高の牛肉需要と輸出量、輸出額を記録しました。カナダ産牛肉の2022年輸出量は511,000トンで、2002年に記録した史上最高記録に10,000トンおよばなかったものの、過去2番目の高水準を達成しました。輸出額においては、昨年は46億カナダドルの新記録を樹立しました。



カナダビーフ次期プレジデント
エリック・ビアンヴニュ氏

年の任期を終え2024年3月にプレジデントを退任するヤングの指導のもと、ビアンヴニュ氏はアルバータ州カルガリーを拠点として半年間の移行期間を経た後、ヤングの退任と同時にプレジデントに就任します。

カナダビーフ国際機構の運営を監督している市場開発・プロモーション委員会のラス・マラード委員長は、ジェフ・スミス、トレバー・ウェルチ、チャド・ロスの各理事とともに、ヤングの支援のもと、エグゼクティブ・サーチ委員会を率いてきました。マラード委員長は「当委員会は、4ヶ月に及ぶ厳正な審査プロセスを監督し、数名の優秀な候補者の中で検討を行ってきました。私たちは、エリックをこのセクターに迎えることを嬉しく思っています。」と述べました。